

令和6年度 保育所における自己点検・自己評価

園名 香里敬愛保育所

※今年度の園の保育・教育全般を総合的に評価し、

次年度の保育計画に生かせる方向で記入する。

〔記入方法〕

A、B、C、Dの4段階評価。該当する欄に○をする。

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

A：あてはまる
B：ややあてはまる
C：ややあてはまらない
D：あてはまらない

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				昨年度から『心も体も元気な敬愛』の重点目標を継続して設定、保育を行った。 継続することで、保育内容の質が上がり、子どもに反映できた。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日程	1) 1日の流れ（デイリープログラムなど）は現行でよいか。	○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			行事担当を3チーム制にし、担任以外とのつながりを作り、どの職員も主体となり、内容の充実を図れた。 子ども主体を最優先に考え、特に年中、年長児は子どもの意見を取り入れたお楽しみ会、お店屋さんごっこ、劇、お別れ会を実施。自分たちの意見やイメージが形となることや、誰もが主役となり、主体的に参加する姿が見られた。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項 目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になっているか。			○		社会問題でもある保育士の労働環境について、現場職員の意見が吸い上げられる仕組みがあり改善された点もある。今後も現場職員が主体となり自身の職場について考え、動き、質の高い保育が提供できるようにしたい。
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3)職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。			○		
	人権プライバシーについて	(1)子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮しているか。	○				毎月人権研修を実施。事例検討、チェックリスト、自身の保育について互いに振り返る機会を設けている。 年中、年長児にも保健指導の性教育で、自分を大切にするという話をしている。その他の学年は、衣服を脱がす前に声を掛け、プライベートパーツは、自分以外の人が勝手に見たり触ったりしてはいけないことを教えることが性教育の土台として行っている。
		(2)子どものプライバシー保護に配慮しているか。		○			
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			業務改善会議等での意見が取り入れられ、改善し体制を整えてきている。しかし現状上手く機能していないことが課題である。 毎週のクラス会議が定例となっている。午睡時間等の保育の合間での会議の実施となるため、会議の内容、進め方を工夫していきたい。
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3)打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別・クラス経営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				年長児の下のクラスへのお手伝いなどは通常に行っているが、その他の学年同士の異年齢児活動が課題である。
		(2)年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			

		(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
		(6)評価、資料（諸記録）を集積しているか。	○				
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				令和6年4月から安全計画策定義務化。計画を下に園全体や年齢毎に安全確保に関する取り組みを行っている。
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○			
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				雨天時、早朝、夕方等の時間帯の避難訓練も強化し、如何なる場合も想定した安全確保に努めたい。 看護を中心にいきいきチェック（生活習慣チェック）を毎年継続して実施。朝うんちやスクリーンタイムなど課題が見られるが、これを機会に家庭の改善の努力も見られる。
		(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○				
研究・研修	所内研究・研修	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○				
		(2)所内研修の計画・運営は適切か。	○				
		(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○				
		(4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○				令和5年、6年度と継続して心も体も元気な子どもを育てる保育を実施。会議や総括、日々の振り返りで子どもの姿を捉えて内容を研究。幼児期に身に付けたい36の姿を取り入れ動作の多様化や洗練化につなげること、忍者ごっことして、楽しみなりきりながら運動にチャレンジできるようにするなど、年齢毎に実施してきた。

	所外研究	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○				
	・研修	(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				

項 目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
情報について		(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				
		(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
		(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備		(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				
		(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
		(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか		○			
		(4)非常災害時を想定した対策を行っているか	○				
		(5)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○			
出納・経理		(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○			枚方市の架け橋（5歳児から小1の2年間）プログラムに3年目の参加であった。保幼小の連携が深まり、その内容も充実され、年長児の保育に還元することができた。
		(2)他施設等の幼児・児童・生徒と触れ合う中で、（乳）幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○				
		(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○				
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○		

	家庭・地域社会との連携	(1)保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
		(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。				○	
開かれた保育所づくり	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				姉妹園と連携し、1歳半からの未就園児クラスは昨年度より利用者が増えた。年齢を問わない保育参加も2歳までの利用が多く、この年齢での子育て支援の充実を図っていく必要がある。
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○				
		(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○		
		(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情報の発信	(1)保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				Instagramの活用を増やしている。発信の手段やその内容をニーズに応じて工夫していきたい。
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			令和6年1月第三者評価 令和6年7月枚方市監査 令和7年1月法人内内部監査を受審。適正な保育所運営を行っている。
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			

※この「保育所における自己点検・自己評価」は事業所全体で行った自己評価です。